

第六次猪名川町総合計画(基本計画)(案)に対する パブリックコメント及び町の考え方

意見募集期間:令和元年9月20日～令和元年10月19日

意見提出者数:4人

提出意見数:27件

■第六次猪名川町総合計画(基本計画)(案)について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
1	1	-	5 ～ 6	2	1	-	-	1	<p>人権尊重の問題と言う扱いであれば、女性の就業人口や割合の問題ではありません。そのため、女性の就業率をここで上げる必要性は薄いと思われます。また、性による役割分担の問題でもありません。</p> <p>そのため、就業等で取り上げる方が妥当であると思われる。一方で、ここでは、「社会で活躍する女性の人権を尊重すべき」であると言う部分を取り上げるべきであり、例えば、セクシャルハラスメントやマタニティハラスメントに関する記述をすべきと考えられます。</p> <p>「男女共同参画の推進」についても、人権の視点での記述にすべきと考えられます。</p> <p>多文化共生に関する記述のうち、国際社会の中で、猪名川町で育つ子どもたちが身につけるべき国際感覚というのは、本項目で述べるのは、人権に監査うる感覚に特化すべきであると考えられます。</p> <p>国際社会の中で、人権以外の知識については、他項目で挙げるべきです。</p>	<p>人権尊重と多文化共生といった大項目の中に、男女共同参画を組み込んで記述しており、男女共同参画の視点においては、人権のみならず固定的な性による役割分担なども含んでいます。</p> <p>男女共同参画の視点から、現状と課題として、公表データである女性の就業率と平成 28 年に実施した『人権についての住民意識調査』の2つのデータにおいて、性別による役割分担の意識が残っていると判断し、本計画においても記載しています。</p> <p>多文化共生について、子どもの国際感覚については、知識の習得のみを目的とはせず、人権にかかる差別意識の解消には他者との違いを認め理解することから始める必要があると考えており、広く寛容な心を育むために他者との違いを認め合う象徴として国際感覚と表現しています。</p> <p>以上により、原文のとおりとします。</p>
2	1	-	8	2	2	-	-	分野別計画	<p>分野別計画として、担い手の一つ(福祉的分野)として「第3次猪名川町地域福祉計画」を記載する。</p>	<p>分野別計画には、各施策の推進や効果検証を行うための関連計画を体系として表記しています。地域福祉計画にはコミュニティに関連する記述もありますが、計画策定の主たる目的は地域福祉となっていることから、関連計画の体系を明らかにする意味でも、分野別計画には記載していません。そのため、原文のとおりとします。</p>

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
3		1	10	2	3	1)	⑤	-	「まちづくりへの参加・参画の仕組みの構築・拡充」⑤については、情報公開制度に基づくものであり、住民のまちづくりのための制度ではありません。別分野（行政の透明性向上など）でとり上げるべき項目であると考えられます。	まちづくりへの参加、参画の実現においては、行政がもつ情報は不可欠だと考えています。情報を開示していくうえで必要な手続きとして記載していましたが、ご意見のとおり参画と協働の仕組みではなく、施策22の1)④でも記載しているため、施策3参画・協働からは削除します。
4		1	13	2	5	-	-	●1つ目	「子育てしやすい環境」の「全施策」が、どの範囲での全施策か不明です。アンケートでは、子育てに関する施策が挙げられていたのだと思いますが、何らかの方法で示すべきだと思います。	全施策とは、アンケートで町の施策全般に関して評価をお聞きしており、子育て環境が全体の中で評価が高かったことを表現していますが、誤解を与えうる表記であるため、子育て支援に対する評価が高かったということを示すよう、以下のとおり改めることとします。 「まちづくりアンケート調査において、子育て環境についての評価が高く、特に30歳代以下の年代、就学前の子どもがいる世帯において評価が高くなっています。また、重要度についても評価が高く、年代や地域に偏りなく、重要と考える人が多くなっています。」
5		1	13	2	5	-	-	●2つ目	「留守家庭児童育成室の対象を高学年」は「留守家庭児童育成室の対象を小学校高学年」とした方がわかりやすいと思います。	ご意見のとおり改めます。

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
6		1	14	2	5			分野別計画	分野別計画に、地域福祉計画が抜けています。	分野別計画には、各施策の推進や効果検証を行うための関連計画を体系として表記しています。地域福祉計画には子育てに関連する記述もありますが、計画策定の主たる目的は地域福祉となっていることから、関連計画の体系を明らかにする意味でも、分野別計画には記載していません。そのため、原文のとおりとします。
7		1	15	2	6			● 1つ目	<p>「全国水準とほぼ同じ傾向となります。」でなく、「とほぼ同じ傾向となりました。」だと思います。</p> <p>また、以前は兵庫県・全国平均を下回っていたが、追いついたわけであり、急速な高齢化が進んでいることについての認識を明らかにすべきだと思います。</p> <p>また、今後の見込みが、全国平均程度で推移するのか、それとも、これよりも進むのかなど明らかにした方が良いと思います。</p>	<p>直近のデータを踏まえ、以下のとおり改めることとします。</p> <p>●本町の高齢化率は、全国水準・兵庫県平均より低い水準で推移してきましたが、2019年(平成31年)1月1日(総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」)の高齢化率は28.3%と、全国水準(27.6%)、兵庫県平均(27.9%)を上回ることとなりました。近年、本町の高齢化は急速に進んでおり、今後も高齢化は進んでいくと予測されます。</p> <p>●本町の健康寿命(2015年(平成27年))は男女ともに兵庫県下で最も長く、この特徴を活かした取組の継続が重要となります。</p>
8		1	16	2	6			分野別計画	分野別計画に、地域福祉計画が抜けています。	分野別計画には、各施策の推進や効果検証を行うための関連計画を体系として表記しています。地域福祉計画には高齢者に関連する記述もありますが、計画策定の主たる目的は地域福祉となっていることから、関連計画の体系を明らかにする意味でも、分野別計画には記載していません。そのため、原文のとおりとします。

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
9	1	-	18	2	7	-	-		障がいについては、近年、猪名川町を含め、ヘルプマークを導入する自治体が増えてきています。 そのような中で、社会全体として、障がいとは限らないものの、支援を必要とする人の存在について、目を向けていく必要が求められていると思います。 本項目でなくてもいいのですが、ヘルプマークに関する知識の普及も進めるべきであると思われます。	ヘルプマークは、外見からは判断できない内部障がいのある人や精神・知的障がい者、または妊娠初期の人など援助や配慮を必要としていることが見た目では判断できない人のために作られたものです。 本町では、平成30年度より配布していますが、ヘルプマークに関する知識の普及については、具体的な施策であることから本計画には記載をせず、分野別計画である「地域福祉計画」(現在策定中)に記載する予定です。
10	2	-	22	2	9	1)	②		自助・共助に加え互助・共助の啓発も必要ではないでしょうか？	本町の防災分野では、自発的なボランティアなど福祉分野等で使われている互助については、共助として整理しているため、原文のとおりとします。
11	1	-	22	2	9	1)	-		「災害対策・危機管理の充実」には、県民共済などの災害用保険の加入に関する啓発も含めることも必要だと思います。	本計画では、防災に関する基本的な方針を記載しており、保険加入等の具体的な取り組みの推進に関しては、分野別計画で整理することとしています。そのため、本計画中では保険加入に対しては言及していません。
12	1	-	36	2	16	1)	-		「良好な住宅・宅地の供給、住環境づくり」については、ニュータウンの地区計画や申合わせ事項などを、住民に遵守させるための啓発等を行うことで、良好な住宅環境を守る取組みが必要と考えられます。	1) ①2文目「今後新たに住宅地が建設される場合には、宅地や住戸規模に関して適正な規制と誘導を図り、良好な住環境の確保に努めます。」を以下のとおり改めることとします。 「また、地区計画等により、市街地環境の形成を図っている地区については、引き続き周知・啓発を行い、良好な住環境の確保に努めます。」

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
13	1	-	36	2	16	2)	-	-	「安全・安心・快適な住環境づくり」については、住宅内の歩道等を改修する際には、安全性など、よりふさわしいものの導入に務めるべきであると考えます。	施策 18 の 1) ④に含まれているため、施策 16 では原文のとおりとします。
14	1	-	39	2	18	-	-	● 1つ目	新名神高速道路はすでに完成しているため、段階的に開通することを示す必要性は薄いと感じます。また、利便性が高まる期待ではなく、現に高まっています。	以下のとおり改めることとします。 「新名神高速道路（高槻 JCT-神戸 JCT）が開通し、広域的なアクセスが飛躍的に向上したことにより、周辺地域の利便性が高まっています。」
15	1	-	40	2	18	1)	-	-	「人にやさしく、安心な道路整備、橋りょう整備」については、他計画でも触れられていたように思いますが、メンテナンスのしやすいものや長寿命なものを導入することに努めることも必要だと思えます。	施策 24 の 1) ③で公共施設の長寿命化を図ることとしており、道路や橋りょうも含まれていることから、施策 18 では原文のとおりとします。
16	1	-	42	2	19	1)	①	-	「人・農地プラン」については、唐突感があるので、説明等が必要です。	資料編の用語解説中において、説明を追記することとします。
17	1	-	44	2	20	2)	-	-	「多様な起業・創業支援の展開」として、例えば、在宅ワーカーが一時的に打合せなどを行う場(時間貸しオフィス)などの導入や、就学前の子どもがいる在宅ワーカーへの一時保育サービスの提供などを検討してほしいと思えます。	ライフスタイルに合わせた多種多様な就業形態が進むなか、在宅就労者に対する支援施策の必要性は今後ますます高まるものと認識しており、ニーズの把握、関係機関との連携、近隣自治体の動向など情報収集に努めているところですが、本計画においては記載する必要はないと考えため、原文のとおりとします。

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
18		1	44	2	20	3)	-		「雇用の促進と勤労者福祉の充実」では、一時・常時のテレワークへの補助や、推奨などの導入を検討して欲しいと思います。	ライフスタイルに合せた多種多様な就業形態が進むなか、在宅就労者に対する支援施策の必要性は今後ますます高まるものと認識しており、ニーズの把握、関係機関との連携、近隣自治体の動向など情報収集に努めているところですが、本計画においては記載する必要はないと考えるため、原文のとおりとします。
19		1	50	2	23	1)	③ ④		「効果的・効率的な行政運営」については、猪名川町公共施設等総合管理計画で「施設の大規模な改修・修繕にあたっては、高耐久性建材や省エネ機器、建設コスト削減に寄与する新工法を採用するなど、施設の長寿命化を図る」ことになっていたと思います。	分野別計画となる猪名川町公共施設等総合管理計画で記載しているとおりであり、本計画の体系を整理する上では、分野別計画で記載していることから、本計画では記載していません。
20		1	50	2	23	2)	-		「人材育成・人事管理の充実」とは異なりますが、弾力的な人材の登用として、期限付き職員の採用や、公募による職員採用なども検討すべきであると思われます。	行政サービスの維持と安定した行政運営のためには、多様な任用方法による職員の確保が必要となり、今後は任期付採用なども検討しますが、本計画においては記載する必要はないと考えるため、原文のとおりとします。
21		1	51	2	24	-	-		「現状と課題」では、平成30年度は、決算がマイナス収支となる予定です。猪名川町の現状を知るためには、本計画策定時に間に合うのであれば、本計画に記載すべきと考えます。また、基金の状況も記載した方が、状況がわかりやすいと考えます。	毎年度の決算状況は「決算説明資料」などにより、広報誌やホームページなどで公表しており、本計画においては記載する必要はないと考えるため、原文のとおりとします。

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
22		3	51	2	24	-	-	● 2つ目	<p>「本町の財政力指数・・・総じて本町の財政は健全な状況にあると言えます。」の部分ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政力指数が0.61であることを明記してください。 ・経常収支比率は27年度で低下し、28,29年度と毎年上がっています。 <p>その実態(数値)も明記して、財政状況が健全かどうかは町民が判断できるように記述してください。</p>	<p>数値等を入れて修正することとし、以下のとおり改めることとします。</p> <p>「本町の2017年度(平成29年度)の財政力指数0.61(財政の体力を示すもので、指数が高いほど財政に余裕がある状態とされる)は、全国市町村平均(平成29年度0.51)より高い水準で推移しています。また、2017年度(平成29年度)の経常収支比率89.9%(財政の余裕度を示すもので、比率が低いほど財政の弾力性がある健全な状態とされる)は、2014年度(平成26年度)以降は全国市町村平均(平成29年度93.5%)より低い水準で推移しており、総じて財政は健全な状況にあるといえます。」</p>
23		1	52	3	24	-	-	-	<p>「健全な財政運営の推進」、「確実な財源の確保」普通財産・行政財産ともに、利活用の検討は必要です。</p> <p>そのために、本町の資産について、明らかにした上で利活用の見通しなどをわかりやすく示して欲しいと思います。</p> <p>また、ふるさと納税などの税外収入の確保については、別項目として挙げるほうが望ましいと思います。</p>	<p>「財政の見える化」を進めており、資産の公表を行っています。町だけでなく民間事業者による資産の利活用を期待している部分もあり、見通しの明示は困難と考えています。</p> <p>また、税外収入の確保については分かりやすい表記とするため、2)②を「保有資源の有効活用」と「税外収入の確保」に2つに分け、以下のとおり改めることとします。それに伴い、2)③については④に改めます。</p> <p>②普通財産の利活用の検討など、保有資源の有効活用を図ります。</p> <p>③税外収入の確保に努めることとし、ふるさと納税のさらなる推進などを積極的に取り組みます。</p>

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
24		2	54	3	1	-	-		テーマ型 → テーマ型(志縁型)の方が分かりやすいと思います。	これまでのコミュニティとは違った、新しいコミュニティの形成を目指しており、「志縁型」は本町内では言葉が浸透していないと考え、「テーマ型」とし、原文のとおりとします。
25		1	56	3	2	-	-		「子育ての「安心」と「楽しさ」を実感できる環境づくり」のKPIで、「子育て世帯(義務教育までの子どもがいる世帯)の人口割合」が妥当か疑問です。 また、今後5年間で本施策でこの指標に影響が出るかは疑問に思います。	重点戦略として子育て支援の充実を目指しています。また、総合戦略においても子育て世代をターゲットにした社会増減を検討していることから、一つの指標になると考えています。5年間という期間では明確な効果は出にくいことは承知していますが、経過を把握する意味でも効果があると考えています。 以上により、原文のとおりとします。
26		1	56	3	2	-	-		「暮らしの基盤となる多様な「働く場」「しごと」の創出」では、企業誘致や農業所得の向上で挙がっている2つのKPIが改善するか疑問です。	本項目では企業誘致や農業所得の向上を評価検証する指標が必要となり、2つの指標がすべてを包含するものではありませんが、より端的に検証する指標としてこの2つの指標を用いることとし、原文のとおりとします。

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
27		4	55 ～ 58	3	-	-	-		<p>挙げられている施策に対する内容本文と、指標として設定されている KPI の項目に少々ズレを感じるため、そこを目標にして計画を立てるのは違うのではないかと不安になる部分が複数ありました。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56 ページの「子育てと楽しさを実感できる環境づくり」に対する KPI(子育て世帯人口)→子育てに関する窓口 ・拠点の整備、コミュニティやイベントの活動件数なども必要では？ ・56 ページの「働く場・しごとの創出」に対する KPI(商工会会員数・新規就農者数)→雇用者は？ ・58 ページの「災害に強いまちの実現」に対する KPI(防災士の登録者数)→防災訓練の回数や、救命救急の取り組みなど自助に対する意識改革がまず必要では？ 	<p>重点戦略の成果を検証するうえで、検証すべき数値の把握を行うこととしており、ここでは KPI として設定していますが、行政で把握できる統計上の数値を基本としています。そのため、直接的な効果が分かりにくい場合もありますが、外部評価も含め総合的に評価することで、各事業の評価検証は可能だと考えています。</p> <p>以上により、原文のとおりとします。</p>